

入学試験問題

教育研究分野	人間文化論、日本文化論、医事法学、科学史技術論、臨床死生学、ソーシャル・イノベーション論
科目	論述試験 I

近年、日本では高齢化が急速に進展しており、2020年10月1日現在で65歳以上の高齢者が総人口に占める割合（高齢化率）は28.8%に達している。また、高齢化率は今後も上昇を続け、2066年には、38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来するものと推計されている（出典：「令和3年度高齢社会白書」（全体版））。

高齢化の急速な進展は、疾病構造にも大きな変化をもたらしている。

次頁の二つの図を手がかりとして、以下の設問に答えなさい。

【設問】

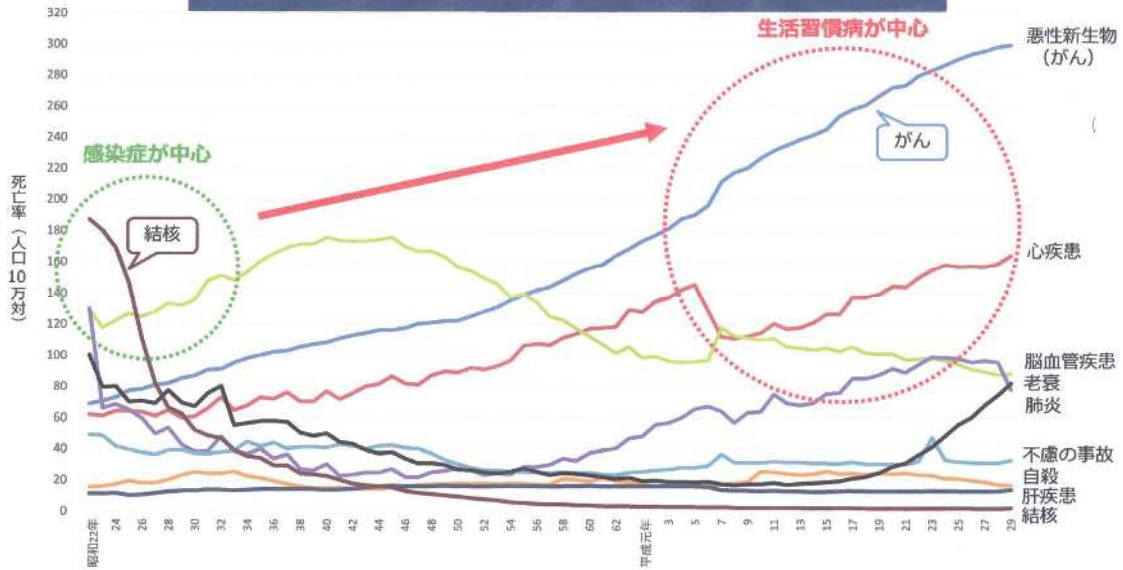
1. 近年における疾病構造の変化の内容とその要因について簡潔に説明しなさい。
2. 疾病構造の変化に伴って生じる課題を一つ以上挙げ、それについて、あなたが入学後専攻する分野の観点から論じなさい。

以上

## 我が国における疾病構造の変化

- わが国の疾病構造は、かつての感染症から生活習慣病や老化に伴う疾患中心へと転換。

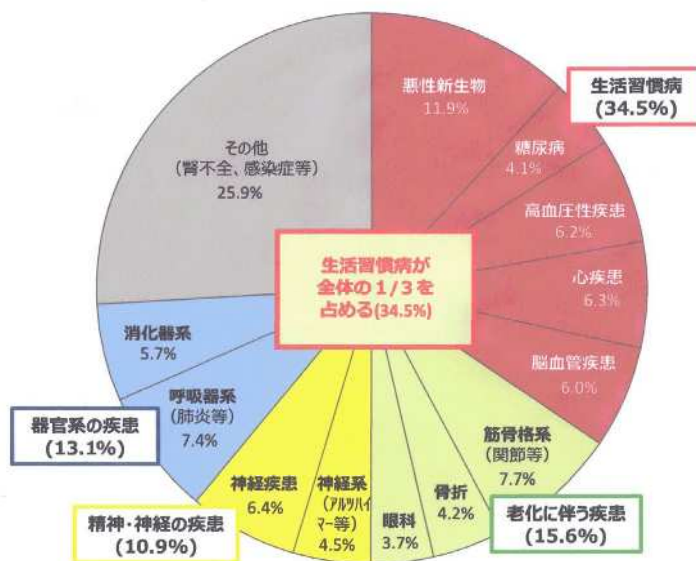
【主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移】



※平成6年までの「心疾患（高血圧症を除く）」は、「心疾患」である。  
 (出所) 厚生労働省「平成29年（2017）人口動態統計月報年計（概数）」より作成。

## 医療需要の三分の一が生活習慣病関連

- 実際、医科診療費の3分の1以上が生活習慣病関連。



傷病	2015年度 医科診療費
悪性新生物	3兆5,889億円
糖尿病	1兆2,356億円
高血圧性疾患	1兆8,500億円
心疾患	1兆8,848億円
脳血管疾患	1兆7,966億円
筋骨格系（関節等）	2兆3,261億円
骨折	1兆2,503億円
眼科	1兆1,085億円
神経系（アルツハイマー等）	1兆3,637億円
精神疾患	1兆9,242億円
呼吸器系（肺炎等）	2兆2,230億円
消化器系	1兆7,170億円
その他（腎不全、感染症等）	7兆7,774億円
<b>合計</b>	<b>30兆461億円</b>

(出所) 厚生労働省「平成27年度 国民医療費の概況」より作成。

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程  
2022年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	日本文化論
科目	論述試験Ⅱ

問題 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

(末木文美士『日本宗教史』、岩波書店、2006年。問題作成の都合上、文章を加工している。)

設問 1 この文章に即して、〈古層〉について説明せよ。

設問 2 設問 1 をふまえて、日本の思想や文化について、具体的にテーマを設定し論述せよ。

以 上